

JAM結成20周年記念企画

歴代会長座談会を開く <速報版>



前列左から 小出幸男 2代目会長、服部光朗初代会長、河野和治 3代目会長
後列左から 眞中行雄 4代目会長、宮本礼一 5代目会長、安河内賢弘 6代目現
会長、中井寛哉書記長

JAMは1999年9月9日にゼンキン連合と金属機械が統合し、昨年の第21回定期大会で結成20周年を迎えた。

記念事業として、本年5月26日には「20周年記念講演・レセプション」を、8月の定期大会時には「20周年記念誌」の発行を予定している。

この記念誌の特別企画として、1月29日に静岡県熱海市で服部光朗初代JAM会長（80歳・現JAM相談役）をはじめ、現役の安河内賢弘会長まで6代の会長が揃い「歴代会長座談会」を開いた。

司会は現役の中井寛哉JAM書記長が進行し、「会長時の偉業」をテーマに約4時間に渡り元会長らが熱く語った。

6人の歴代会長が揃ったのは初めてで、当時の勇ましさと変わらず元気で、会場に到着するなり、全員と握手を交わした。

一番遠くからは、3代目の河野和治元会長で、山口県長門市から来られた。

座談会の内容は、夏に発行する「20周年記念誌」までお楽しみに。

